

# バックエレクトレット・コンデンサー型ショットガンマイクロホン AT8015

## 取扱説明書



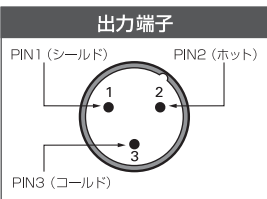
ご購入ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



- 周囲雑音が多い環境で目的音を高い明瞭度で捉えるロングショットガンマイクロホン。全長460mm、質量195g。軽量で取り回しが良く動作環境を選ばない2ウェイ電源方式。ポータブルレコーダーへの接続やビデオカメラ搭載など多様なフィールド收音に最適です。
- 単3形アルカリ乾電池または単3形マンガン乾電池×1、またはDC11~52Vのファントム電源にも自動対応する2ウェイ電源方式。
- 風雑音を効果的に低減する80Hz・18dB/oct. ローカットスイッチを標準装備。
- 吹かれノイズに強い新形状のウインドスクリーンを標準装備。
- 携帯電話やワイヤレスインカム、電波に対するRF対策を強化。ノイズを大幅に軽減し環境の悪い現場でのトラブルを解消。
- 欧州RoHS指令に対応。

### 使いかた

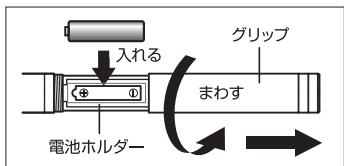
1. マイク出力端子をファントム電源対応のマイク入力(平衡入力)を有する機器に接続します。  
※ 接続する機器がファントム電源対応でない場合、本製品に指定の電池1本を入れてください。  
※ 出力コネクタはXLR-F(3PIN)が適合し、図の出力端子の特性を参照してください。
2. ビデオカメラなどに装着する場合、マイクホルダーとマイクロホンとの間に隙間や、ぐらつきがあるときに、付属のOリングをマイクロホンに装着してください。Oリングはマイクロホンを固定する部位に2箇所取り付けます。



本製品はファントム電源、または指定電池の電源供給が必要です。

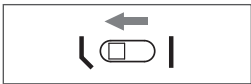
### 電池の入れかた

- グリップ部を回転させ、電池ホルダーに指定の電池を入れます。  
⊕ ⊖の極性表示にご注意ください。  
※ 電池を入れた状態でファントム電源を供給すると、ファントム電源の駆動が優先されます。



### スイッチの設定

風などの吹かれや振動ノイズをカットする場合は、側面にあるローカットスイッチをオン( )にします。

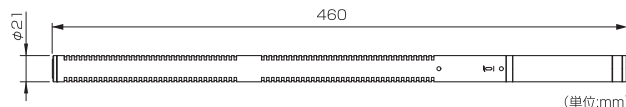


### テクニカルデータ

型式	バックエレクトレット・コンデンサー型
指向特性	超指向性
周波数特性	40~20,000Hz
感度(0dB=1V/Pa, 1kHz)	-39dB(電池時)、-38dB(ファントム時)
最大入力音圧レベル(1kHz at 1% T.H.D.)	120dB S.P.L.(電池時)、132dB S.P.L.(ファントム時)
S/N比(1kHz at 1Pa)	72dB
出力インピーダンス	300Ω平衡(電池時)、250Ω平衡(ファントム時)
電源	単3形アルカリ乾電池×1、単3形マンガン乾電池×1、またはファントムDC11~52V
消費電流	0.4mA(電池時)、2mA(ファントム時)
ローカット	80Hz、18dB/oct.
電池寿命	約1200時間(マンガン乾電池使用時)
質量	195g

付属品: AT8405a マイクホルダー、ウインドスクリーン、変換ネジ、単3形マンガン乾電池×1、Oリング×2、キャリングケース

(改良などのため予告なく変更することがあります。)



(単位:mm)

### 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

- 危険** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
- 警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
- 注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

### 本体について

#### 警告

- 分解や改造はしない
  - 強い衝撃を与えない
  - 濡れた手で触れない
- 感電によるけがや事故、本製品の故障の原因になります。

#### 注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
- 本製品の故障、不具合の原因になります。

### 電池についての注意

指定電池 単3形アルカリ乾電池×1 または 単3形マンガン乾電池×1

#### 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない  
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
  - 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない  
液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
- ・万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。  
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

#### 警告

- 幼児の手の届く所に置かない  
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の原因になります。
- 火の中に入れて、加熱、分解、改造しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 電池は(+) (-)を逆に入れない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 乾電池は充電しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使い切った電池はすぐに取り出す  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 硬質やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の(+)と(-)を接続しない  
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない  
発熱、破損、発火の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す  
液漏れによる故障の原因になります。

#### 注意

- 外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない  
ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 変形させたりハンダ付けしない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない  
■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所  
■炎天下の車内 ■ストーブなどの熱源の近く  
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 保管、廃棄の場合は端子(金属部分)をテープなどで絶縁する  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 水に濡らさない  
発熱、破裂、発火の原因になります。
- 機器を使用したあとは必ずスイッチを切る  
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。
- 指定の電池以外使用しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する  
環境保全に配慮してください。

### 指向特性 / 周波数特性

